

次世代ユネスコ国内委員会の活動概要について

令和 4 年 3 月

(経 緯)

令和元年 10 月の「ユネスコ活動の活性化について (建議)」及び昨今の日本ユネスコ国内委員会における議論を踏まえ、昨年の日本のユネスコ加盟 70 周年の機会をとらえ、①国内ユネスコ活動に関する若者世代のネットワークを強化し、②未来を担う若者からの声を我が国のユネスコ活動に反映するとともに、③国際会議等における日本の若者からの発信力を強化するため、令和 3 年 10 月に、「次世代ユネスコ国内委員会」を組織した。

当委員会では、昨年 10 月のキックオフ会合を皮切りに、ユネスコ活動の活性化のために国内外の次世代が主体的・継続的に関わることのできるユネスコ活動について、2 つのワーキンググループに分かれて意見交換を行い、提言案の作成に取り組んできた。

(組織構成)

公募により選ばれた 10 代・20 代の若者 20 名で構成。(ワーキンググループ別名簿は別添のとおり)

(主な活動実績及び予定)

10 月 27 日	キックオフ会合
11 月下旬	各ワーキンググループから事務局に中間報告
12 月 1 日	事務局と意見交換
12 月下旬	各ワーキンググループから事務局に中間報告
1 月 27 日	事務局と意見交換
2 月 28 日	各ワーキンググループの提案書を 1 つの提言案にまとめる
<u>本 日</u>	<u>第 510 回日本ユネスコ国内委員会運営小委員会及び第 150 回日本ユネスコ国内委員会総会において発表</u>
3 月 15 日	各国のユースと議論する「Youth Conference for UNESCO—Act for the future—」開催
3 月末迄	提言の最終版を提出

別添

ワーキンググループ別名簿

令和3年10月

A

B

氏名	職名	氏名	職名
(リーダー) 長澤パティ明寿	慶應義塾大学総合政策学部2年/unicef Campus 事務局	(リーダー) 細谷 優希	Salesforce.com/Sustainability Cloud プロダクトマネージャー、プロダクトマーケティングマネージャー
(サブリーダー) 桐葉 恵	NTT DATA 営業	(サブリーダー) 吉川 愛梨沙	東京農工大学農学部地域生態システム学科1年
小林 真緒子	津田塾大学総合政策学部総合政策学科2年/一般社団法人アンカー 理事 / #SASS2021(Sustainability Awards for Students by Students) 実行委員代表	タパ・セカル	日本経済大学経済学部商学科3年/日本経済大学ユネスコクラブ代表/神戸ユネスコ協会青年部副代表/日本ユネスコ協会連盟全国の青年連絡組織幹事
(セクレタリー) 渡邊 桃子	デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	(セクレタリー) 田中 麻琴	エディンバラ大学修士課程 (MSc Urban Strategies and Design)
青山 友基	兵庫県立川西明峰高等学校教諭	石田 菫	京都大学総合生存学館総合生存学科博士一貫プログラム4年
東 和佳奈	神戸大学国際人間科学部2年	川上 寛人	岡山理科大学工学部情報工学科1年
沖田 広希	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル グローバルソリューションズ事業部	茶山 健太	オックスフォード大学地理環境学部博士課程2年
川端 優木	奈良市立一条高等学校3年	杉戸 卓磨	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター国際教育交流部プログラム・オフィサー
中原 瑠南	加藤学園暁秀高等学校3年	三浦 唯	雙葉高等学校3年
長谷川 綾子	ハイデルベルク大学大学院文化越境専攻 (M.A. Transcultural Studies) 2年	森田 乃絵	玉川大学教育学部3年/文化会ユネスコクラブ所属